

同窓会だより

題字 肉藤 浩六

令和2年8月1日発行
東京学芸大学
附属竹早小学校同窓会
会長 矢澤 英人
発行責任者
佐藤 良文
印刷 (株) サンプラネット
No.40



会長挨拶

同窓会会長

矢澤 英人
(昭和33年次卒)

会員の皆様には日頃より同窓会活動に多大なご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

2020年は母校の創立120周年の節目を迎え、記念すべき喜ばしい1年間にするために、同窓会としても張り切って準備を進めておりました。

しかし、新型コロナウイルス蔓延の影響で、母校も2月末より休校になり、東京オリンピック延期が決定され、4月7日には政府より非常事態宣言が発出されました。この緊急事態宣言は5月25日にいったん全面解除され、国内感染者数も一時期から比較すると大分沈静化してきましたが、まだまだ安心は出来ません。地球規模で、新型コロナウイルスとの戦いが続いており、1日も早いコロナ禍の完全収束を願うばかりです。

4月中旬には、見通しの立たない先行きを考慮し、2020年度「総会・懇親会」の次年度以降への延期措置、通常の理事会開催など同窓会活動全般を2021年3月末まで当面中止とすることを、理事全員の承認により決定しました。

本決定は、母校の先生方より十分にご理解をいただき、理事一同安堵いたしましたこと、ご報告申し上げます。

昨年秋季には120周年記念事業として、母校からの要望に沿って、ランチルーム音響設備の改修に着手いたしました。

この「同窓会だより」が発行される頃には、新設備がお披露目されている予定でしたが、残念なことに未だ完成に至っておりません。

は、不具合箇所の事前の確認が不十分で、工事業者との対応が的確でなかったと反省しています。母校の先生方にご迷惑、ご不便をおかけしていること、誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。母校での日常活動が落ち着き次第、早期に改修作業を再開し、音響設備を満足してご使用いただけるよう、全力を注ぐことをお約束いたします。

コロナ禍の影響による大変な状況の中、母校は4月から鎌田正裕新校長をお迎えしており、教職員の皆さん、児童、保護者の方々が一丸となって新たな活動が開始されるに伴い、徐々に平常の活気が戻ってくるかと確信しています。

なお、本年度の「総会・懇親会」は来年度に延期しましたので、来年度は本年と来年の「二学年合同開催」を予定しております。節目学年も該当する学年人数が二倍となり、より盛大に開催できるよう、準備を進めて参ります。

依然として先行きの見えない環境下ではあります。が、創立120周年の記念募金の目標達成に向け、会員皆さんの温かいご支援を賜りたくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

東京学芸大学附属竹早小学校同窓会 2020年度活動に関して

平素は竹早小学校同窓会活動に多大なご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、本年度の同窓会活動は新型コロナウイルスの影響で、年度内の活動を「延期」または「休止」を4月21日の3部会長臨時理事会で起案し、その後全理事で承認・決定いたしました。

しかし、年度末の必要案件などはメールや最小人数による会合開催、理事間での情報共有は常に行っております。この「同窓会だより」も、本来であれば節目学年のみなさまと編集会議開催して発行予定でしたが、3部会長が中心になりweb会議を利用して発行しました。

主要行事である「総会・懇親会」も次年度以降に延期とし、平成05年次担当次学年からも準備に必要な打合せが出来ないということで早期から延期提案などもありました。

そこで、新型コロナウイルスの先行きが見えない状況ですが、2021年度に予定している「総会・懇親会」は「2020・2021年度担当次2学年合同開催」にしたいと考えております。

平成05年度・平成06年度年次学年のみなさまには今までになかった変則的な開催ですが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

あわせて、本年度の「節目学年」のみなさまにも2学年合同開催へ、ご協力をお願い申し上げます。

今後も母校120周年記念への支援なども変わらず行って参りますので、みなさまよろしくお願い申し上げます。

総務部会長 高島 裕